

はくよう  
柏葉  
2月号



第479号  
令和8年2月1日発行  
社会福祉法人  
幼保連携型認定こども園  
柏原こども園



## 逃さず充実の時を



10年に一度の大寒波と言われ北海道や東北は雪の壁におおわれ、多くの不便をしいられておられます。それに比べると、「ありがたい」と安堵しながらも除雪作業におわれていますが、子どもたちは大喜びで雪の積もった園庭で友だちと一緒に「よいしょ！よいしょ！」と力を合わせながら雪玉を転がして大きな雪だるま作りをしています。人工芝の上で転がした雪玉は土や石がつかず、きれいに出来上がり子どもたちはさらに大喜びです。また、氷柱や氷を見つけてままごと遊びに取り入れるなど、冬ならではの遊びを楽しんだり、元気に走り回りながら風揚げをしたり、マラソン大会に向けてマラソンをしたりと身体を動かし寒さに負けずに遊ぶ姿も見られます。室内では、かるた遊びやコマ回し、福笑いなど日本の伝統遊びを楽しんでいます。

今月は2月3日に節分誕生会を行い「鬼は外」「福は内」と心の鬼や邪気を追い払い、一年の健康、安全等をお祈りしたいと思います。

まだまだ寒さが続きますが引き続きインフルエンザなどの感染症に注意しなければいけない季節です。手洗いうがい、こまめな換気、消毒など子ども達の健康管理に留意していきたいと思います。

そして幼児クラスは一年の集大成としての生活発表会を予定しています。どのクラスも保育の中で経験したことや成長した子どもたちの姿を日常の遊び、劇遊び、合奏などを通して表現します。お家の方に見ていただくことで自信となり、また新たなステップへ繋がっていければ嬉しく思います。



- 3日(火) 節分誕生会
- 4日(水) 柏原小学校半日入学 13:15～受付
- 5日(木) 令和8年度入園説明会
- 16日(月) 運動教室(3・4・5歳児)
- 17日(火) 生活発表会予行練習
- 19日(木) 避難訓練と身体測定
- 27日(金) 生活発表会



- 3日(火) ひなまつり誕生会
- 6日(金) マラソン大会
- 7日(土) 保護者環境整備 すみれ組(4歳児)の保護者
- 10日(火) お別れ会
- 11日(水) 避難訓練と身体測定
- 16日(月) 運動教室(3・4・5歳児)
- 19日(水) 令和7年度卒園式(卒園児のみ参加)
- 4月1日(水)～4月4日(土) 希望保育
- 4月6日(月) 令和8年度入園式

### 2月の歳時記

- 節分(3日)**  
日本の伝統的な暦では季節の変わり目にあたる日を大切にしており、本来は立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれの前日が節分でしたが、特に立春は1年の始まりの日として尊ばれたため節分といえは春の節分を示すようになったようです。節分は「みんなが健康で幸せに暮らせますように」という意味を込めて悪いものを追い出す日です。  
季節の分け目には悪いもの(邪気)が現れやすいとされていて その「悪いもの」の象徴が「鬼」ということです。邪気祓いとして「鬼は外!! 福は内!!」と豆をまいたり恵方巻きを食べたりします。節分という言葉には「季節を分ける」という意味があり、昔の日本では 春は一年の始まりとされ 特に大切にされていました。そのため春が始まる前の日、つまり冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになりました。
- 立春(4日)**  
節分の翌日が立春です。暦上では春が始まる日あり、「二十四節気」の最初の節気です。
- 建国記念の日(11日)**  
戦前は「紀元節」という祝日でしたが、戦後は「建国を記念する日」として昭和41年に制定され祝日とされました。神話より神武天皇(初代天皇)即位の日を日本の起源としています。建国をしのび、国を愛する心を養う日です。
- 雨水(うすい)(19日)**  
雨水(うすい)とは、降る雪が雨へと変わり雪解けが始まる頃のこと。山に積もった雪もゆっくりと解け出し田畑を潤します。昔から、雨水は農耕を始める時期の目安とされてきました。
- 天皇誕生日(23日)**  
天皇誕生日を天長節(てんちょうせつ)として祝う慣習は8世紀から続く伝統でした。そのため天長節は、明治天皇の誕生日(11月3日)、大正天皇の誕生日(8月31日)、そして昭和天皇の誕生日(4月29日)という具合に天皇が代替わりすると日付が変わりました。天皇誕生日は、日本の国民の祝日の一つで、天皇陛下の誕生日を祝う日です。

### 主な活動としつけのめあて

- さくら組(0歳児)

  - 一人ひとりに合った生活リズムで、体調を把握しながら寒い時期を健康に過ごす。
  - 保育者や友だちと一緒に音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ。
- さくら組(1歳児)

  - 一人ひとりの体調に留意し、寒い時期を健康に過ごせるようにする。
  - 保育者や友だちと簡単なやり取りをしながら一緒にごっこ遊びや好きな遊びを楽しむ。
- さくら組(2歳児)

  - 身近な自然に触れながら寒い冬を健康に過ごせるようにする。
  - 保育者の声掛けにより身の回りのことなど、自分でできた喜びを味わいながら進んでしようとする。
  - 保育者や友だちと言葉のやりとりや簡単なルールのある遊びを楽しむ。
- もも組(3歳児)

  - 身の回りの始末や手洗い・うがいなど、自分から進んでしようとする。
  - 劇遊びを通して言葉のやり取りをしたり、歌ったりしながら表現することを楽しむ。
  - 寒さに負けず戸外でのびのびと遊び、自然の変化に興味関心を持つ。

### ☆家と園で頑張ろう！今がチャンス！子育てポイント!!

#### すみれ組(4歳児)

- 冬に必要な生活習慣が身につき、寒い時期を健康に過ごす。
- クラスで一つのテーマや目的を共有し、みんなで作り上げることや共に楽しむことに喜びを感じる。
- 冬の自然事象に興味を持ち、観察したり試したりして遊ぶことを楽しむ。

#### ☆自分の思いを言葉で伝えよう！

#### ふじ組(5歳児)

- 活動や生活に見通しを持ち、友だちと共通の目的に向かって協力して進めやり遂げた達成感を味わう。
- 友だちと互いの良さを認め合いながら遊びや生活を進める楽しさを味わう。
- 雪や氷などに関心を持ち、調べたり試したりして遊びに取り入れて楽しむ。

#### ☆自分の意見を言葉にして伝えよう！



2月27日(金)は幼児クラスの生活発表会です。園児服と体操服の着用をお願いします。

0・1・2歳児さくら組のお子様は平常通りの保育となります。



#### ～エピソードに学ぶ NO.19～ “幸せの種”



ある日、0歳児さくら組の担任から「☆ちゃん“えんちょうせんせい”って言えるんです」と教えてくれました。「えっ ほんとう？」とお部屋に行き「☆ちゃん、先生のこと呼んでくれるの」といって聞こうとしましたが恥ずかしそうにして声を聴くことは出来ませんでした。お母さんがお迎えに来て下さった時に「☆ちゃん 言ってみて」とお願いしてみると可愛い声で「えんちょうしえんしえ」と呼んでくれます。わざわざ繰り返し教えたわけでもなく日常の中で自然に覚えてくれて言葉にしてくれて、ものすごい感動です。思いがけず「自分のことを知ってもらっていたんだ。しかも0歳児さんに」と胸がキューンとなる感じでした。お母さんが「家でも何回も言っているんです」とおっしゃり嬉しさ倍増です。どんなふうに私と「えんちょうせんせい」の言葉が一致したのかと思ったら、お母さん曰く、HPの写真やお誕生日会に写っている写真をみて言葉を発していったとのことでした。他の人から見たら何のたわいもないことですが私と☆ちゃん当事者にとっては感動の絆ができた瞬間なのです。「幸せ」こんなうれしい関係を全園児とつながっていききたいものです。

また、先日のお茶会の時に背筋を伸ばし「お点前頂戴いたします」とはっきり相手にわかるように礼儀正しい作法で抹茶をいただく○ちゃんに「わぁ～ 姿勢

もご挨拶も一番上手だったと思うよ」と感じたままを伝えました。するとお迎えにこられたお父さんに「あのね。きょうね。園長先生にお茶会の時に一番姿勢がよかったってほめてもらったよ」と言っている声が聞こえてきました。お父さんもリアクション上手で「そうか、よかったなー」と嬉しい気持ちを○ちゃんに伝えてくださいました。このことがまたお母さんに伝わればうれしさの連鎖が広がりハッピー家族になります。普段何気なく子ども達とおしゃべりしたりしていますがいつもいつもでなくても、たまには子ども達の心に響く肯定的な言葉で嬉しくなる言葉がけをしてあげることが大きな意味を持つのかなと感じる今日この頃です。

お誕生日会の時には誕生日児が指名したお友達がその子のいい所見つけをして「○○ちゃんは足が速いところがいいところです」と褒めてくれます。すると誕生日児はとてもうれしそうな顔をします。みんなは「すごい」とたたえます。

子どもも大人も“いい所見つけ”を広めて認め合い、幸せな気持ちを共有したいものです。いくつかの胸キューンにであえるといいですね。

